

「飯田メロディー」に思いをはせて

―飯田三郎生誕百年記念音楽会 8/18―

数々の偉大な功績を残した根室出身の作曲家・故飯田三郎先生の、生誕百年を記念した音楽会が総合文化会館で開かれ、市民約800人が詰めかけました。

ねむろ太鼓保存会の演奏を皮切りに、第一部では市内3校の児童生徒が飯田先生作曲の校歌を、続いて市内4合唱団が根室市の歌を斉唱しました。第2部では、特別ゲストとして歌手の大津美子さんが、市内のビッグバンド、イースト・ポイント・ジャズ・オーケストラの演奏で「ここに幸あり」や「啼くな小鳩よ」など9



心を込め高らかに「ここに幸あり」を歌う大津美子さん



「根室の第九」「北国讃歌」でフィナーレを飾る

曲を熱唱し、曲の合間に飯田先生との思い出や歌にまつわる秘話などを紹介しました。フィナーレでは、市内音楽団体と合唱団による交響組曲「北国讃歌」が演奏され、会場が一体となって飯田先生の生誕百年を祝いました。

また、音楽会の開催に合わせて会場内では「飯田三郎特別展」も行われ、直筆の楽譜や写真などの展示物14種類と、飯田先生とコンビを組んで作詞活動を行っていた高橋掬太郎先生に関する資料が展示され、来場者は足を止めて、資料を見つめながら飯田先生に思いをはせていました。

北方領土返還要求運動を強力に推進する決意を表明し、国内外の世論を高めることを目的に「北方領土返還要求市民大会」が総合文化会館で開催され、市民や元島民、返還運動関係者約500人が参加しました。

式典では、戦後67年が経過してもいまだに解決しない北方領土問題に対して、長谷川市長から「停滞していた北方領土問題は近く動き出す。」

断固たる決意と熱意で

―北方領土返還要求市民大会 8/5―

と期待を寄せる一方、メドベージェフ首相の2回目となる国後島訪問に遺憾の意を示すとともに「政府の強力な外交交渉を求めるとともに北方領土問題の一日も早い解決に向け

る標語「最優秀作品に。国土に。北方」



「生きているうちに返還を」と訴える永塚さん

て、いかなる困難に遭おうとも運動にまい進する。」と、決意を示しました。

引き続き行われた「根室市民の叫び」では、元島民をはじめ青年団体などの代表者4人が登壇し、国後島出身の永塚良さんから「われわれが生きているうちに四島が還ることを切に願う。」と、悲痛な思いを叫びました。式典の最後には、北方領土問題早期解決に向けた政府の強力な外交交渉と世論の喚起を訴えた大会決議が、満場の拍手とともに採択され、市民や返還運動関係者は四島返還に対する決意を新たにしていました。



市民約500人が領土返還へ不退転の決意を示す

まちの発展に大きな貢献

―平成24年度根室市功労者・貢献賞表彰式―

市政施行記念日である8月1日、市政の発展に尽力した功労者および貢献者25個人2団体の表彰式が、根室商工会館で開かれました。

式典には、多くの関係者が会場に集まり、長谷川市長から「地域に対する尽力と厚志に深く感謝する。これからも市民の模範として活躍してほしい。」とあいさつが述べられ、一人ひとりに賞状を手渡しました。

受賞者を代表して長年地域医療に貢献し、功労者には選ばれた根室共立病院の杉木博幸院長から「受賞の喜びを心に留め、これからも地域発展のために尽くしたい。」と、謝辞が述べられました。

